

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和5年5月26日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：黒川長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから5月26日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○黒川総務課長 報道官の黒川です。

お手元の広報日程に沿って説明いたします。

まず、2ページですけれども、5月30日の（4）核燃料施設等の審査会合です。

議題は1つで、JAEA（日本原子力研究開発機構）の原子力科学研究所の放射性廃棄物の廃棄施設の設工認ということで、これは新規制基準対応の設工認ということになりますけれども、9分割で認可申請しているものの最後の申請ということのようで、3月24日にその申請がありまして、今回、初回で概要を説明ということになります。

次が、5月30日の（5）第1153回審査会合です。これは特定重大事故等対処施設が議題のため非公開となっています。

議題は1つで、柏崎刈羽の6・7号機の許可ということです。

次が、6月1日の（8）クリアランスに関する審査会合です。

議題は1つで、島根1・2号機ということになります。

これは経緯がありまして、2年前の6月に審査会合を一回やっているのですが、そのときにデータが不足しているなどの指摘がありまして、改めてその対応をして、今年の4月に補正の申請がありまして、その補正の後、今回、初めてその内容を聞くということになります。

次は、3ページですけれども、6月1日の（9）第1154回審査会合です。

議題は2つで、いずれも40年の運転期間延長の件ということになります。

1つ目は、高浜3・4号機で、4月25日に申請がありまして、今回、初回ということになります。

2つ目は、川内1・2号機で、こちらは前回4月4日のコメント回答などということになります。

最後が、3のその他のところですが、5月29日から6月2日にALPS（多核種除去設備）処理水の海洋放出についてのIAEA（国際原子力機関）の包括レビューミッションがあります。

これは規制レビューではなくて包括レビューなので、どちらかというと我々というよ

りは外務省のほうが主体になる話かと思えます。規制委員会からは伴委員と事務方が参加することになっています。

こちらからは以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問をお願いいたします。御質問のある方は手を挙げてください。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございました。

—了—